

安心の輪

田丸 あけみ

新年度がスタートし、一か月が過ぎました。保護者のみなさんにとって、この4月は、どのような一か月だったでしょうか。

入園や入学、新しい担任など、環境の変化に心配で心が揺れ動く一か月だった保護者の方もいたのではないのでしょうか？子ども達も新しい環境でのスタートとなりましたが、一ヶ月が経ち、少しずつ落ち着いてきています。

私自身も園長4年目を迎えました。少し、私の自己紹介をさせていただくと、私は3人兄弟の次女として生まれ、実家は八百屋を営んでいました。両親は365日休みなく働いていました。母と昔の話を時々するのですが、我が子をどう育ててきたか記憶が無いと言う程、当時は店の切り盛りに必死だったようです。父も忙しい毎日で、いつもイライラしていました。大人になった今だから大変だった当時を理解できるのですが、幼少期の頃は、そんな両親に反発ばかりしていました。

しかし、多忙な両親に代わって私を育ててくれたのが地域の人たちでした。

今でも実家に行くと、当時の私を知ってくれている人が、私の幼い頃の話を楽しそうにしてくれます。大人の大きな器の中で見守られながら、子ども時代を子どもらしく過ごすことができました。

これは、私の体験の一例ですが、やはり、子どもが育つ過程の中で、緊張せず、安心できる大人が子どもの周りに一人でも多くいることが、何より子ども自身の安心感に繋がると思っています。職員もそんな大人の一人として、子ども達と共に過ごしながら、子どもが安心して気持ちを表現できる存在でありたいと思っています。

そして、地域の方やボランティアの方々も、アトムの子供達にいろんな場面で関わって頂いています。ノルディックさん、文庫連さん、手話の先生、リトミックの先生、自分の畑をアトムの子供達に貸してくれる地域の方、花壇の手入れをしてくれる方、園舎周辺の掃除をしてくれる方、その他にも散歩先で、温かい声をかけてくれる方もいます。本当にたくさんの方々に見守って頂けていることに感謝です。

保護者の方々もぜひ、助け合いながら子ども達を温かく見守る子育て仲間を作って下さい。そして“安心の輪”を広げてください。

4月末に、消防署の方に来て頂き、救命救急講習会を行いました。毎年、救命救急講習会を行い、身の引き締まる思いで参加しています。アトムには、AEDを設置しています。AEDの使い方も必ず、講習会の中で学んでいます。アトム周辺で、もしもの事が起こった場合、アトムの事務室にAEDがあることを保護者の方も覚えておいて下さい。